

【進研アド入学前教育】
学問サキドリプログラム
受講結果データの見方とポイント
《入学生へのご指導・フォローに向けて》

株式会社 進研アド

お伝えしたいこと

これから、実際に入学生を迎えられ、
入学生向けのガイダンスや、個別フォロー・指導のご予定、
実施をされていることと存じます。

「学問サキドリプログラム」の受講を通して、ご入学生の
得意な分野や苦手な分野、得点の状況
学習の進め方
入学後への期待や不安などの意識・意欲面
などを、個人別のプロフィールとして、可視化し、ご提供しています。

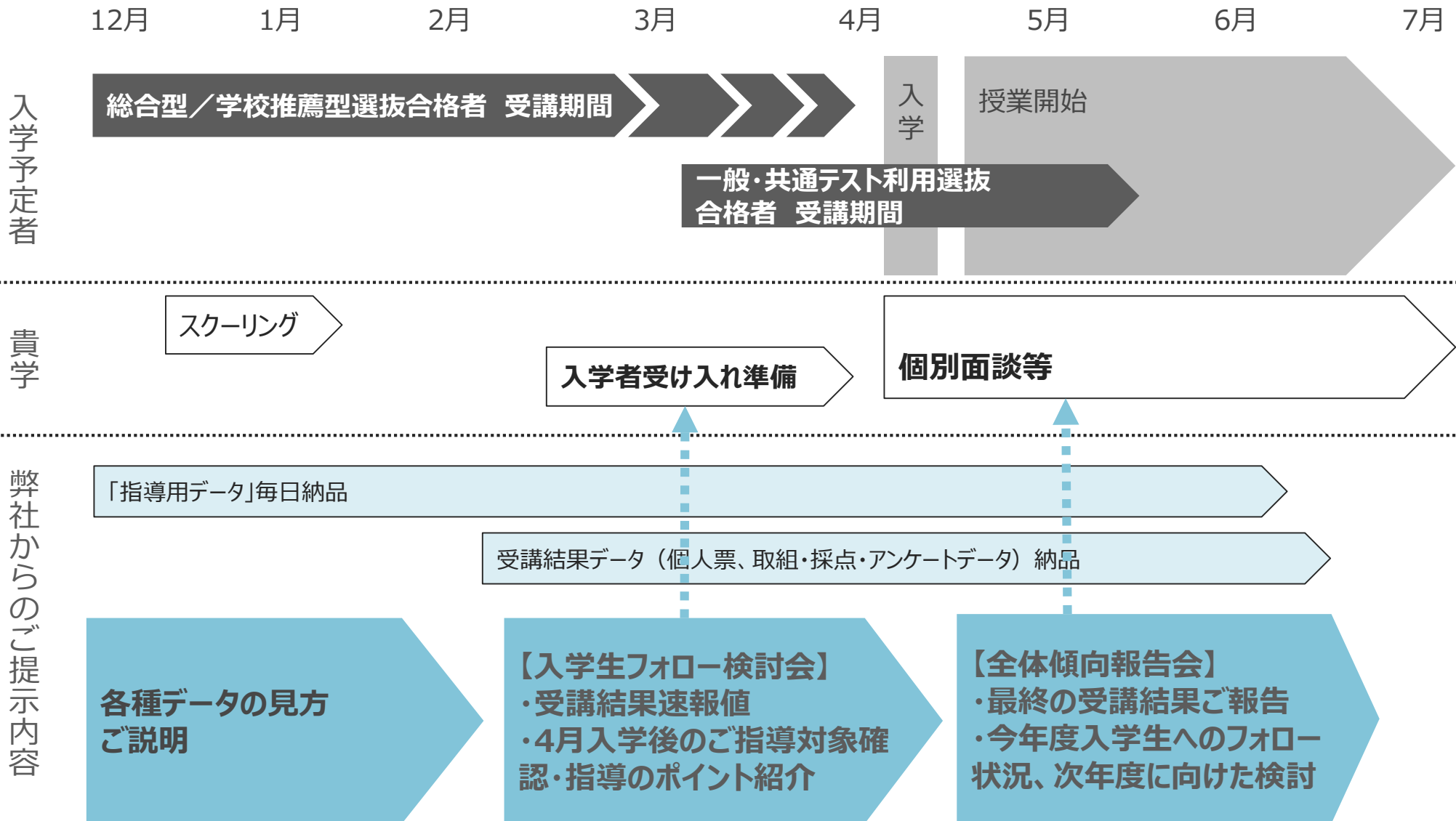
ぜひ、面談や授業でのフォローなど、
個人別のご指導に、受講結果をお役立てください。

プログラム構成




1. ご入学生へのフォロー・ご指導スケジュールについて
2. 「要注意学生」のピックアップ方法：「指導用データ」のご紹介
3. 受講結果データの確認方法
 - 学習習慣面
 - 学力面
 - 意欲・関心面
4. 層別指導：「学修リテラシータイプ」のご紹介
5. 「個人票」のご紹介

1. ご入学生へのフォロー・ご指導スケジュールについて
2. 「要注意学生」のピックアップ方法：「指導用データ」のご紹介
3. 受講結果データの確認方法
 - 学習習慣面
 - 学力面
 - 意欲・関心面
4. 層別指導：「学修リテラシータイプ」のご紹介
5. 「個人票」のご紹介

学問サキドリプログラム 全体スケジュール



プログラム受講後の、入学生へのフォロー・指導例

時期	～3月 「入学生フォロー検討会」	～大学1年生4月 プログラム受講終了	大学1年生4月～ 「全体傾向報告会」	～大学1年生前期
指導活用イメージ	<p>受講結果速報の確認と、 要注意学生の把握</p> <p>要注意アラート等、指導ポイントの多い学生を「指導用データ」から把握し、指導優先順位を立てる。</p> <p>入学後のフォロー体制検討</p> <p>入学後のフォロー体制・教員間の分担・効果的なクラス分けを考える。</p> 	<p>個人票で優先順位の高い 学生から面談開始</p> <p>「指導用データ」「個人票」をもとに優先順位の高い学生から入学直後のフォローを開始する。 特に受講結果より、学生の困りごと・不安・モチベーションの確認を行い、これからの大学での学びに向けてチアアップを行う。</p> 	<p>2024年度入学生の 全体傾向を把握</p> <p>「報告書」をもとに、今年度の入学生の実績、昨年比較・他大学比較による全体傾向の把握。 他大学の指導例などを把握し、自大学で可能なら応用していく。</p> 	<p>入学時のデータからリスクの 高い学生を夏までフォロー</p> <p>要注意学生がGW明け・前期試験前で離脱することが無いように、こまめに教員間でフォローしていく。 苦手科目がある場合は必要に応じて補講、学習習慣・学習意欲に課題がある場合は面談を行う。面談では必要に応じて「個人票」を活用。</p> 

指導にご活用いただけるデータの種類

受講結果だけでなく、進学満足度や入学後の期待・不安など、個々の状況把握が可能。
入学予定者の個々の状況を詳細に把握した上で、面談や個別指導を実施することができます。

受講期間中 お渡し	①指導用データ	②取り組み状況	③採点データ	④アンケート 全データ
	全受講対象者のデータを 集約・整理した一覧表 要指導の学生を ピックアップ	課題提出日と 取り組み時間など 取り組み状況をチェック	入学予定者の 得点率一覧 苦手分野をチェック	成績だけではなく、 学習習慣や入学時の 学生の気持ちを把握
受講終了後 お渡し	⑤個人票	⑥報告書		
	入学予定者個人ごとに 受講データを記載した 面談用に活用できる シート	全体傾向から 見た傾向と課題を まとめた報告書		

属性・個別指導に
※次頁より詳細ご案内

全体傾向の把握に

1. ご入学生へのフォロー・ご指導スケジュールについて
2. 「要注意学生」のピックアップ方法：「指導用データ」のご紹介
3. 受講結果データの確認方法
 - 学習習慣面
 - 学力面
 - 意欲・関心面
4. 層別指導：「学修リテラシータイプ」のご紹介
5. 「個人票」のご紹介

「指導用データ」 ダウンロード方法

指導用データ（個人情報なし）

Chatterbox > データ確認 > 受講データ（個人情報なし）

chatter box (大学・学校マイページ) 進研大学1 様 サインアウト

TOPページ

スケジュール
メッセージ検索
メッセージ新規

提出/校了

仕様書
受講者リスト
その他

データ確認

仕様書・文書(確定版)
受講確定者リスト
指導用データ(個人情報なし)
受講データ(個人情報あり)

教材見本閲覧
利用者/IPアドレスの管理
① 使い方マニュアル

■ 受講データ（個人情報なし）
受講データの見方はこちら

指導用データ（個人情報なし）

※デイリーで更新され、アップから7日間のデータが確認できます。
土日祝日、年末年始（12月29日～1月3日）の更新はありません。

指導用データ（個人情報なし）を一括ダウンロード

ファイルがありません。

ダウンロード

報告レポート

初回レポートを一括ダウンロード

日時	ファイル名
<input type="checkbox"/> 22/09/05 15:14	9999_報告レポートテスト用①.xlsx

ダウンロード

中間レポートを一括ダウンロード

ファイルがありません。

ダウンロード

最終レポートを一括ダウンロード

ファイルがありません。

指導用データ（個人情報あり）

Chatterbox > データ確認 > 受講データ（個人情報あり）

chatter box (大学・学校マイページ) 進研大学1 様 サインアウト

TOPページ

スケジュール
メッセージ検索
メッセージ新規

提出/校了

仕様書
受講者リスト
その他

データ確認

仕様書・文書(確定版)
受講確定者リスト
指導用データ(個人情報あり)
受講データ(個人情報なし)

教材見本閲覧
利用者/IPアドレスの管理
① 使い方マニュアル

■ 受講データ（個人情報あり）
受講データの見方はこちら

※このページにアップロードされているデータは個人情報が含まれています。
保管期間を過ぎると、自動的にデータが削除されます。必ず期限内にダウンロードをしてください。

指導用データ（個人情報あり）

※デイリーで更新され、アップから7日間のデータが確認できます。
土日祝日、年末年始（12月29日～1月3日）の更新はありません。

指導用データ（個人情報あり）を一括ダウンロード

ファイルがありません。

ダウンロード

報告レポート

※「採点データ」「提出状況データ」と同時に作成し、期間中に3回アップロードします。
※保管期間は、アップロードから2週間となります。

報告レポートを一括ダウンロード

日時	ファイル名
<input type="checkbox"/> 22/09/05 13:09	9999_報告レポートテスト用①.xlsx
<input type="checkbox"/> 22/09/05 13:00	9999_報告レポートテスト用②.xlsx

ダウンロード

個人票（面談シート）

※保管期間は、アップロードから2週間となります。

ファイル名	ダウンロード期日
9999_報告レポートテスト用③.xlsx	22/09/19

ダウンロード

※「個人情報」の権限がないユーザーは「個人情報あり」のデータにアクセスできませんのでご注意ください。

※「個人情報あり」のデータは、アップロード後2週間の保管期間を過ぎると、自動的にデータ削除されるため、ご注意ください。

「指導用データ」構成

I. 学習習慣 (スタートBOOKの取り組み状況)

II. 基礎学力 (スタートBOOKの課題得点)

スタートBOOK「●●系」										受講後アンケート Q2-3	取り組み時間	高校振返アンケート Q3	スタートBOOK「●●系」										受講後アンケート Q1			
期日内提出率		50.0%	33.3%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%				平均得点率	78.3	70.0	74.5	77.3	54.0	56.5	得点率の伸び	57.5	60.0				
期日後提出率		33.3%	50.0%	60.0%	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	標準偏差				15.2	20.0	14.5	14.3	11.8	26.5	-		-					
未提出率		16.7%	16.7%	20.0%	40.0%	60.0%	60.0%	60.0%	[スタートBOOK]への取り組み方 ※「指導用データの観点」に選択肢記載																	
全体の提出率		83.3%	83.3%	80.0%	60.0%	40.0%	40.0%	40.0%																		
遅れ/未提出アラート	まとめて提出アラート	全体進捗率	ピフオテスト	[ワーク]ははじめの一步	STAGE1	STAGE2	STAGE3	[ワーク]学びのまとめ	アフターテスト	締切日を守れなかった理由と今後に向けた工夫	ピフオテスト 取り組み時間	アフターテスト 取り組み時間	Web課題 取り組み時間	高校時代の自宅での学習時間	学習に向かう力 評価	STAGE1 平均得点率	STAGE2 平均得点率	STAGE3 平均得点率	全STAGE 平均得点率	ピフオテスト 得点率	アフターテスト 得点率	大学生チャレンジ 1~3 正答率 (初回)	大学生チャレンジ 1~3 正答率 (解き直し)	大学生チャレンジ 1~3 解き直し回数		
半分以上遅れ提出★ 全で遅れ提出★★ 半分以上未提出★★★ 全て未提出★★★★	期日遅れ かつ2STAGE分を 同日取り組みで★	100%	2023/11/26	2023/12/1	2023/12/15	2024/1/10	2024/1/18	2024/2/1	2024/2/25	締切日を守れなかった理由は ありません。	0:24:33	0:29:39	2:06:06	8.3時間以上	95	90	89	91.3	64	83	19	100	100	2	1. 穴埋めに全て取 組んで、「学習のな らぬ」に注意した	
***		43%	2023/12/15	2024/1/10	2024/1/18						0:32:24	0:20:11	0:20:11	3.1時間	*	75		75.0	55		0	50	30	1		
**	*	100%	2024/1/30	2024/1/30	2024/1/30	2024/3/1	2024/3/5	2024/3/5	2024/3/5	スケジュール管理が上手にか た、確認していませんが あります。	0:10:24	0:12:47	0:40:55	1.ほとんとしていない	**	55	50	60	55.0	35	30	-5	20		2	5. 課題やワークに取 り組み際に見た

III. 学習に対する意欲・関心 (進学意識、入学後の学びに対する意識)

IV. 学習力 (パワーアップBOOKの取り組み状況と得点)

受講前アンケート Q1_1	受講前アンケート Q1_2	受講前アンケート Q1_3	受講前アンケート Q2	ワーク「学びのまとめ」	ワーク「未来の自分を考えよう」	最終アンケート Q4	パワーアップBOOK 1							
							期日内提出率	100.0%	100.0%	平均得点率	75.0	82.0	78.5	
							期日後提出率	0.0%	0.0%	標準偏差	0.0	0.0	0.0	
							未提出率	0.0%	0.0%					
全体の提出率		100.0%	100.0%	STAGE 1	STAGE 2	STAGE 1	STAGE 2	全STAGE 平均得点率						
進学満足度	志望理由	学部や学科のイメージ	不安や心配	あなたの「目標」や「意気込み」を宣言しましょう！	目標設定タイプ	入学後に意識したい学習行動	まとめて提出アラート	期日遅れかつ2STAGE分を同日取り組みで★	学習に向かう力 全STAGE 平均得点率80.0点以下で★60.0点以下で★★	STAGE 1	STAGE 2	STAGE 1	STAGE 2	全STAGE 平均得点率
1. ぜひ入りたくて進学を決めた	1,4,6,9,10,12,14,19	入学前に基礎知識をおさえておかないと入学後の授業についていけないイメージがあります。このようなプログラムを実施してもらえたら、面見が良い大学だと思います。	不安や心配	あなたの「目標」や「意気込み」を宣言しましょう！	A	基礎経済学	期日遅れ、かつ2STAGE分を同日取り組みで★	★	75	82	78.5			
2. まあ満足して進学を決めた	2,7,9,14	施設や設備が充実している気になったことや分からないことを先生や先輩の方々に聞きやすい印象がある。	不安や心配	あなたの「目標」や「意気込み」を宣言しましょう！										

要注意な学生をピックアップしたい（取り組み状況×得点）

「指導用データ」列P：要注意アラート

課題への取り組み状況と、得点結果に応じて、★を付けています。

★の数が多いほど、学習習慣面や、学力面で、入学後にフォローが必要な状況となる可能性が高くなります。

★の多い学生を「指導用データ」で絞り込むことで、対象者の特徴を把握することができます。

【列P】 要注意アラート ＜要注意学生を発見＞

取り組み状況（列AD・AE）と
得点率（列BN）の★の合計

【列AE】 まとめて提出アラート

★：期日遅れ かつ

STAGE2つ分を同日取り組み

→計画性にやや不安がある可能性があります。

学修リテラシータイプ	要注意アラート スタートBOOK 取り組み状況 と 平均得点率の ★の合計	受講者 番号	氏名	学部名	学科名	入試区分	遅れ/未提出 アラート			まとめて提出 アラート	全体進捗率	ピフォー テスト	【ワーク】 はじめの 一歩	STAGE 1	STAGE 2	STAGE 3	【ワーク】 学びの まとめ	アフター テスト	電話かけ 実施日 <small>※複数回の 場合は 最終実施日</small>	実施結果	電話かけ 実施日 <small>※複数回の 場合は 最終実施日</small>	実施結果	締切日を 守れなかった理由 と 今後に向けた工夫	ピフォー テスト 取り組み 時間	アフター テスト 取り組み 時間	Web 課題 取り組み 時間	高校時代の 自宅での 学習時間 <small>※「指導用 データの 見方」 参照</small>	学習に向かう力 評価 <small>全STAGE 平均得点率が 80.0%以下★ 60.0%以下★★</small>					
							★	★★	★★★																								
A+		99990001		A学部	A学科	総合型選抜				100%	2023/11/26	2023/12/1	2023/12/15	2024/1/10	2024/1/18	2024/2/1	2024/2/25																
B	★★★★	99990002		A学部	A学科	総合型選抜	★★★			43%	2023/12/15	2024/1/10	2024/1/18					2023/12/14	遅延有。本人了承。	2024/1/15	遅延有。本人了承。			0:32:24	0:29:39	2:05	8.3時間以上					*	
A	★★★★★	99990003		A学部	A学科	学校推薦型 選抜	★★		*	100%	2024/1/30	2024/1/30	2024/1/30	2024/3/1	2024/3/5	2024/3/5	2024/3/5	2023/12/14	練習用電話に伝票	2024/2/28	遅延有。本人了承。		スケジュール管理が上手いゆ え、進捗よく進められたが	0:12:47	0:12:47	0:40:55	1.5ほどとじていない					**	
B	★★★★	99990004		A学部	A学科	学校推薦型 選抜	★★★★			0%																							
B	*	99990005		A学部	A学科	学校推薦型 選抜			*	57%	2023/12/1	2023/12/1	2024/2/1	2024/2/1																			
A+	*	99990006		A学部	A学科	学校推薦型 選抜																											

【列AD】 遅れ/未提出アラート

★：半分以上遅れ提出

★★：全て遅れ提出

★★★：半分以上未提出

★★★★：全て未提出

→学習習慣にやや不安がある可能性があります。

【列BN】 学習に向かう力評価

★：全STAGE平均得点率が80.0%以下

★★：全STAGE平均得点率が60.0%以下

→テキスト内容の理解ができていない
(=基礎学力にやや不安がある)
可能性があります。

1. ご入学生へのフォロー・ご指導スケジュールについて
2. 「要注意学生」のピックアップ方法：「指導用データ」のご紹介
3. 受講結果データの確認方法
 - 学習習慣面
 - 学力面
 - 意欲・関心面
4. 層別指導：「学修リテラシータイプ」のご紹介
5. 「個人票」のご紹介



【学習力面：注目したい観点】

- 課題の提出が遅れている・まとめて取り組みをした学生について確認したい
- 高校時代の学習習慣・姿勢について確認したい

課題の提出が遅れた・まとめて取り組みをしていた学生を確認したい

「課題への取り組みが、計画通りにできていたか」「期日を守れていたかどうか」「電話での受講促進対象になっていたか」、などの状況を確認し、現在の学習への取り組み姿勢を把握することができます。

「指導用データ」：「学習習慣」
【列AF:AM】取り組み状況
【列BD:BG】電話フォロー実施状況

＜注目したい観点＞

「課題の取り組み状況」 列AF:AM

- 提出が遅れた課題がある
- 未提出の課題がある

「電話かけ履歴」 列BD:BG

※実施日の日付を記載

- 電話かけを行っている
- 電話かけを行ったが、未提出の課題がある

「未ログイン」： 初回課題の提出日をすぎても
受講ページにログインしていない人へ電話

「課題未提出」： STAGE課題の提出日を
大幅に過ぎた人へ電話

**→自主的に計画性をもって取り組むことが
苦手で、今後も定期的な声掛けが
必要になる可能性があります。**

I. 学習習慣 (スタートBOOK 取り組み状況)								受講フォロー実施：電話かけ履歴		受講後アンケート Q2-3		
期日内提出率	50.0%	33.3%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	未ログイン者	課題未提出者			
期日後提出率	33.3%	50.0%	60.0%	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%					
未提出率	16.7%	16.7%	20.0%	40.0%	60.0%	60.0%	60.0%					
全体の提出率	83.3%	83.3%	80.0%	60.0%	40.0%	40.0%	40.0%					
全体進捗率	ピフオ テスト	【ワーク】 はじめの 一歩	STAGE1	STAGE2	STAGE3	【ワーク】 学びの まとめ	アフター テスト	電話かけ 実施日 <small>※複数回の 場合は 最終実施日</small>	実施結果	電話かけ 実施日 <small>※複数回の 場合は 最終実施日</small>	実施結果	締切日を守 れなかった理由 と 今後に向けた工夫
100%	2023/11/26	2023/12/1	2023/12/15	2024/1/10	2024/1/18	2024/2/1	2024/2/25					締切日を守れなかった課題はありません。
43%	2023/12/15	2024/1/10	2024/1/18					2023/12/14	到達有, 本人了承。	2024/1/15	到達有, 本人了承。	
100%	2024/1/30	2024/1/30	2024/1/30	2024/3/1	2024/3/5	2024/3/5	2024/3/5	2023/12/14	留守番電話に伝言	2024/2/28	到達有, 本人了承。	スケジュール管理が上手いはず、後戻ししてしまったことがあった。
0%												
57%	2023/12/1	2023/12/1	2024/2/1	2024/2/1				2024/1/28	到達無, 留守番電話し。			

yy/mm/dd

期日内に課題を提出できている

yy/mm/dd

課題は提出したが、期日に遅れて提出している

課題未提出

【列BH】

締切日を守れなかった理由を確認
(自由記述)

高校時代の学習習慣について確認したい

高校時代から学習習慣が少ない場合、学習に向かう姿勢が十分にできておらず、入学後のフォローや伴走が必要になります。

【指導用データ】学習習慣
【列BL】高校時代の自宅での学習時間

BH	BI	BJ	BK	BL	BN
					Ⅱ.基礎学力(全)
					スタートBOOK「
受講後 アンケート Q2-3	取り組み時間			高校振返 アンケート Q3	平均得点率
					標準偏差
締切日を守れなかった理由と今後に向けた工夫	ピフオーテスト 取り組み時間	アフターテスト 取り組み時間	Web課題 取り組み時間	高校時代の自宅での学習時間	学習に向かう力 評価
				※「指導用データの見方」に選択肢記載	全STAGE 平均得点率が 80.0%以下で★ 60.0%以下で★★
締切日を守れなかった課題はありません。	0:24:33	0:29:39	2:06:06	8.3時間以上	
	0:32:24		0:20:11	3.1時間	★
スケジュール管理が上手くいかず、後回しにしまったことがあった。	0:10:24	0:12:47	0:40:55	1.ほとんどしていない	★★
	0:34:54		0:23:48	4.1時間30分	
	0:30:51		0:12:30	6.2時間30分	

<注目したい観点>

「高校時代の自宅での学習時間」列BL

☑「1.ほとんどしていない」と回答

→基礎的な学習習慣からご指導いただく必要がある可能性が高いです。

■高校時代の自宅学習時間 平均

	看護・医療系	社会科学系
平均	約115分	約67分
課題得点率：80%以上	約122分	約89分
課題得点率：60～80%	約115分	約83分
課題得点率：60%未満	約108分	約30分



【学力面：注目したい観点】

- Web課題の得点状況について確認したい
- 確認テストの、受講前→受講後の得点の伸びについて確認したい
- 適切な時間をかけて取り組んでいるかについて確認したい

Web課題の得点状況について確認したい

取り組み順番： ビフォーテスト → STAGE1～3（テキスト+Web課題） → アフターテスト
Web課題は、STAGE1～3での学習を確認する位置づけとなり、学修定着度を把握できます。

「指導用データ」：「基礎学力」
 【列BR】全STAGE平均得点率

BK	BL	BN	BO	BP	BQ	BR	
II.基礎学力（全STAGEの得点率、「スタートBOOK」への取							
スタートBOOK「●●系」							
期	高校振返アンケート Q3	平均得点率	78.3	70.0	74.5	77.3	
		標準偏差	15.2	20.0	14.5	14.3	
Web 課題 取り組み 時間	高校時代の 自宅での 学習時間 <small>※「指導用データ の見方」に選択 肢記載</small>	学習に向かう力 評価 全STAGE 平均得点率が 80.0%以下で★ 60.0%以下で★★	STAGE 1 平均 得点率	STAGE 2 平均 得点率	STAGE 3 平均 得点率	全 STAGE 平均 得点率	
		2:06:06	8.3時間以上		95	90	89
	0:20:11	3.1時間	★	75			75.0
	0:40:55	1.ほとんどしていない	★★	55	50	60	55.0
	0:23:48	4.1時間30分		88			88.0
	0:12:30	6.2時間30分					

<注目したい観点>

「全STAGE平均得点率」列BR

☑得点率が60.0%以下

55

全提出課題平均得点率が60.0%以下

75

全提出課題平均得点率が80.0%以下

→次々頁「Web取り組み時間（BK列）」が短い場合、
学習姿勢や計画性が備わっていない
可能性があります。

→「Web取り組み時間（BK列）」が短くない場合でも、
どのように取り組んだのか詳細を確認し、
学習の進め方へのフォローを行う必要があります。

※どのような分野の得点率が低かったかは、
 「採点データ」から詳細を確認できます。

確認テストの、受講前→受講後の得点の伸びについて確認したい

取り組み順番：ビフォーテスト → STAGE1～3 → アフターテスト

ビフォーテストとアフターテストの出題内容は同一であり、アフターテストでの得点の伸びで、受講成果を把握できます。

「指導用データ」：「基礎学力」
【列BS:CG】 受講前後の確認テストの伸び

「+」を押下すると、テストでどの分野の
得点が取れていたかを確認できます。

取り組み時間			スタートBOOK「●●系」	平均得点率					標準偏差					
高校振返アンケート Q3	平均得点率	78.3	70.0	74.5	77.3	54.0	56.5	標準偏差	15.2	20.0	14.5	14.3	11.8	26.5
高校時代の自宅での学習時間	学習に向かう力評価	STAGE 1 平均得点率	STAGE 2 平均得点率	STAGE 3 平均得点率	全 STAGE 平均得点率	ビフォーテスト得点率	アフターテスト得点率	得点率の伸び						
0:24:33	0:29:39	2:06:06	8.3時間以上		95	90	89	91.3	64	83	19			
0:32:24		0:20:11	3.1時間	★	75			75.0	55		0			
0:10:24	0:12:47	0:40:55	1.ほとんどしていない	★★	55	50	60	55.0	35	30	-5			
0:34:54		0:23:48	4.1時間30分		88			88.0	48		0			
0:30:51		0:12:30	6.2時間30分						68		0			

<注目したい観点>

「得点の伸び」 列BS:CG

☑伸びがマイナス（アフターテストのほうが得点率低下）

- 次頁「テスト取り組み時間」が短い場合、
学習姿勢や計画性が備わっていない可能性があります。
- 「テスト取り組み時間」が適当である場合でも、
どのように取り組んだのか詳細を確認し、
学習の進め方へのフォローを行う必要があります。

参考：テスト平均得点率	基礎問題	専門問題	全体	
理工系＋ 国家資格系 (看護・医療系、リハビリ・医療系、薬学系、食物・栄養系、保育・児童系)	ビフォー	52.5%	54.2%	53.2%
	アフター	55.0%	68.9%	61.8%
	伸び	+2.5	+14.7	+8.6
文系 (社会科学系、人文学系、生活・人間系、学ぶ力の基礎、Global View英語)	ビフォー	49.1%	60.1%	54.4%
	アフター	51.5%	73.2%	62.2%
	伸び	+2.3	+13.1	+7.7

適切な時間をかけて取り組んでいるかについて確認したい

ビフォー／アフターテストと、Web課題は、Web上の受講ページにて取り組むため、「課題にどのくらい時間をかけていたか」を確認することで、取り組み姿勢を把握できます。

「指導用データ」：「学習習慣」「基礎学力」
【列BI:BJ】 テスト取り組み時間 / 【列BK】 課題取り組み時間

BI	BJ	BK	BL	BN	BO	BP	BQ	BR	BS	BZ	CG
II.基礎学力（全STAGEの得点率、「スタートBOOK」への取り組み）											↑「+」押下：テストの分野別得点
スタートBOOK「●●系」											
取り組み時間		高校振返アンケート Q3	平均得点率	78.3	70.0	74.5	77.3	54.0	56.5		
			標準偏差	15.2	20.0	14.5	14.3	11.8	26.5		
ビフォーテスト 取り組み時間	アフターテスト 取り組み時間	Web課題 取り組み時間	高校時代の自宅での学習時間 ※「指導用データの見方」に選択肢記載	学習に向かう力評価 全STAGE平均得点率が80.0%以下で★ 60.0%以下で★★	STAGE 1 平均得点率	STAGE 2 平均得点率	STAGE 3 平均得点率	全STAGE 平均得点率	ビフォーテスト 得点率	アフターテスト 得点率	得点率の伸び
0:24:33	0:29:39	2:06:06	8.3時間以上		95	90	89	91.3	64	83	19
0:32:24		0:20:11	3.1時間	★	75			75.0	55		0
0:10:24	0:12:47	0:40:55	1.ほとんどしていない	★★	55	50	60	55.0	35	30	-5
0:34:54		0:23:48	4.1時間						48		0
0:30:51		0:12:30	6.2時間						68		0

じっくりと課題に取り組む時間を持たず、
得点に結びついていないことも

＜注目したい観点＞

「取り組み時間」

- ☑ビフォー／アフターテストの
取り組み時間が**20分未満**
※テスト1回分の回答時間目安は45分
※「アフターテスト得点率」80%以上の人や、
得点率が伸びた人は、
テスト回答に平均**30分以上**かけている

- ☑Web課題取り組み時間が
1時間未満
※「全STAGE平均得点率」が80%以上の人は、
平均**2時間近く**Web課題に取り組んでいる

→**計画性にやや欠け、結果として学力面に影響が出る可能性があります。**



【意欲・関心面：注目したい観点】

- 進学満足度や、学部学科へのイメージを持てているかについて確認したい
- 志望理由の記載内容について確認したい
- 学習に対して抱えている不安や心配の内容について確認したい

進学満足度や学部学科へのイメージを持っていて確認したい

「不本意入学」や、「入学する学部へのイメージ」があいまいな学生は、学ぶ意欲や目的意識の醸成が必要となります。

「指導用データ」：「意欲・関心」

【列CM：CP】 進学満足度：学部や学科のイメージ

CM	CO	CP	CO
Ⅲ.学習に対する意欲・関心（進学意識・入学後の学びに対する意欲）			
受講前 アンケート Q1_1	受講前 アンケート Q1_2	受講前 アンケート Q1_3	受講前 アンケート Q2
進学満足度 ※「指導用データの見方」に選択肢記載	志望理由 ※「指導用データの見方」に選択肢記載	学部や学科のイメージ	不安や心配
1. ぜひ入りたいと思って進学を決めた	1,4,6,9,10,12,14,19	入学前に基礎知識をおさえておかないと入学後の授業についていけないイメージがあります。このようなプログラムを実施してもらえると、面倒見が良い大学だと思います。	入学での学習スピードについていけるかが、正直な不安である。特に自分が苦手とする分野において、他との差が開いてしまわないか、不安
2. まあ満足して進学を決めた	2,7,9,14	施設や設備が充実していて気になったことや分からないことを先生や先輩の方々に聞きやすい印象がある。	大学の授業についていけるか、一人暮らしするのに両立できるのか不安です
3. やや不満足だが進学を決めた	20	指導が手厚く、実践的な学びを得ることが出来る	友達ができるか
2. まあ満足して進学を決めた	7,9,14,22	少人数制で授業以外にも就職など一人一人に丁寧な対応をしてくれるというイメージ	文系だったので履修していない生物についていけるか
4. やむを得ず進学を決めた	19,20,21	資格取得ができる	授業についていけるか

<注目したい観点>

「進学満足度(選択)」列CM

- 3. やや不満足だが進学を決めた
- 4. やむを得ず進学を決めた

3. やや不満足だが進学を決めた

4. やむを得ず進学を決めた

「学部や学科のイメージ(自由記述)」列CP

- ☑ 内容が表面的な事柄に留まっている
- ☑ 文字数が少ない
- ☑ 記載内容が、入学後の学習内容と合っていない

→具体的なイメージがなく入学し、入学後にギャップを感じて、学ぶ意欲や目的意識が低下する可能性があります。

志望理由の記載内容について確認したい

プログラム受講前のアンケートで志望理由を回答します。

志望理由が少ない、他者の薦めによる場合は、期待と実際とのギャップに注意したコミュニケーションが必要となります。

「指導用データ」：「意欲・関心」
【列CO】志望理由

CM	CO	CP	CC
Ⅲ.学習に対する意欲・関心（進学意識・入学後の学びに対する意欲）			
受講前 アンケート Q1_1	受講前 アンケート Q1_2	受講前 アンケート Q1_3	受講前 アンケート Q2
進学満足度 ※「■指導用データ の見方■」に選択肢記載	志望理由 ※「■指導用 データの見方 ■」に選択肢記 載	学部や学科の イメージ	不安や心配
1. ぜひ入りたいと 思って進学を決めた	1,4,6,9,10,12 ,14,19	入学前に基礎知識をおさえ ておかないと入学後の授業 についていけないイメージが あります。 このようなプログラムを実施 してもらえることから、面倒見が 良い大学だと思います。	大学での学習スピードにつ いていけるかが、正直な不安 である。特に自分が苦手と する分野において、他との差 が開いてしまわないか、不安
2. まあ満足して進 学を決めた	2,7,9,14	施設や設備が充実してい て気になったことや分からない ことを先生や先輩の方々に聞 きやすい印象がある。	大学の授業についていける か、一人暮らしするのに両立 できるのか不安です
3. やや不満足だが 進学を決めた	20	指導が手厚く、実践的な学 びを得ることが出来る	友達ができるか
2. まあ満足して進 学を決めた	7,9,14,22	少人数制で授業以外にも 就職など一人一人に丁寧な 対応をしてくれるというイメ ージ	文系だったので履修してい ない生物についていけるか
4. やむを得ず進学 を決めた	19,20,21	資格取得ができる	授業についていけるか

<注目したい観点>

「志望理由(選択)」列CO

☑ 選択項目が3つ以下

→志望度も低い可能性があります。

☑ または、以下の項目を3つ全て選択

- ・19.先輩から薦められる
- ・20.先生から薦められる
- ・21.保護者から薦められる

→自主性に欠ける可能性があります。

(参考) 志望理由の選択肢一覧

- | | |
|------------------------------------|-------------------------|
| 1.教育・研究のレベルが高い | 10.面倒見のよい大学・学校である |
| 2.研究テーマが魅力的 | 11.教職員の対応がよい |
| 3.専門教育が充実している | 12.アドミッションポリシーが自分に合っていた |
| 4.幅広い知識や教養が身につく | 13.社会で役立つ実践的な能力が身につく |
| 5.語学教育が充実している | 14.めざす資格や免許の取得に有利 |
| 6.実習・実験などが充実している | 15.就職支援体制が充実している |
| 7.企業や地域と連携した学びが充実している | 16.就職状況がよい |
| 8.グループワークやフィールドワークなど、
実学が充実している | 17.留学・海外研修制度が充実している |
| 9.少人数教育である | 18.国際性が身につく |
| | 19.先輩から薦められる |
| | 20.先生から薦められる |
| | 21.保護者から薦められる |
| | 22.その他、自分なりの理由 |

学習に対して抱えている不安や心配の内容を把握したい

プログラム受講前のアンケートで、入学後に対する期待や決意、不安や心配を聴取しています。
不安や心配のある学生を事前に把握いただき、寄り添ったコミュニケーションを行えます。

「指導用データ」：「意欲・関心」
【列CQ】不安や心配

CG	CR	CS	CT	CU
学びに対する意欲) ※アンケート未提出者は空欄				
受講前 アンケート Q2	ワーク 「学びのまとめ」	ワーク 「未来の自分を考えよう」		最終 アンケート Q4
不安や心配	あなたの 「目標」や「意気込み」 を宣言しましょう！	目標 設定 タイ プ	A:理解を深めたいこ と B:入学後になりたい 自分、成し遂げたい こと C:入学後にどんな自 分になりたいか	入学後に意識したい 学習行動
大学での学習スピードについていけるかが、正直な不安である。特に自分が苦手とする分野において、他との差が開いてしまわないか、不安	俯瞰して物事を見ることを意識して大学生活を送ります。	A	基礎経済学	今後、しっかり提出期限などは把握して、しっかり守れるようになりたいです。早寝早起きも頑張ります。それをしっかりした上で、大学で専門的な知識を身につけて、夢に近づけるよう頑張ります。
大学の授業についていけるか、一人暮らしするのに両立できるのか不安です				
友達ができるか	他国の文化について知識を増やし、語学力をつけること	B	経営学系を学び、経済の仕組みについて学びたい	しっかり計画を立て生活も勉強もバランスをとる

<注目したい観点>

「不安や心配(自由記述)」列CQ

- 苦手科目で授業についていけるか不安…
- 専門科目を理解できるか不安…
- 新しい環境に慣れることができるか不安…
- 友達ができるか不安…

→事前に把握し、
寄り添ったコミュニケーションを

「目標や意気込み」「意識したい学習行動」

列CR : CU

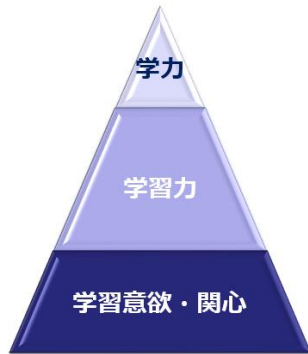
- 内容に具体性がない
- 文字数が少ない、短文
- 記載内容が、入学後の学習内容と合っていない

→具体的な目標のイメージが乏しく、
今後目的意識が低下する可能性があります。

1. ご入学生へのフォロー・ご指導スケジュールについて
2. 「要注意学生」のピックアップ方法：「指導用データ」のご紹介
3. 受講結果データの確認方法
 - 学習習慣面
 - 学力面
 - 意欲・関心面
4. 層別指導：「学修リテラシータイプ」のご紹介
5. 「個人票」のご紹介

「学修リテラシータイプ」 8分類 **New!**

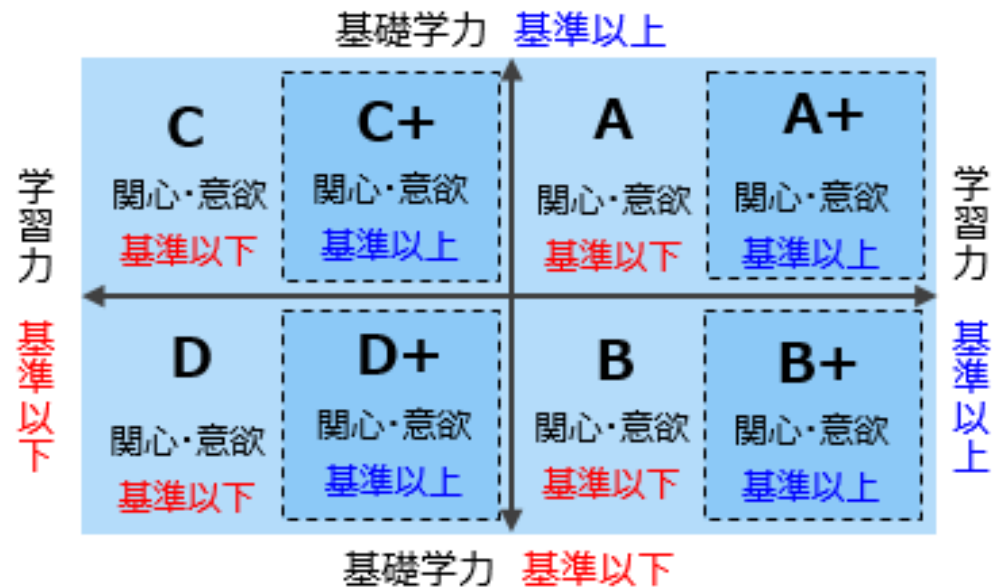
スタートBOOKの「基礎学力」「学習力」「関心・意欲」にかかわる5つの軸より、学生を8タイプに分類
 ⇒入学予定者のタイプ別に、グループ活動や優先順位付けなど、指導計画を効率的に立案できます



	学修リテラシースコア項目	どんな力
基礎学力	汎用的基礎学力	大学での学びに必要となる学力
	専門分野の基礎学力	専門分野の学びに必要となる学力
学習力	主体的に学ぶ姿勢・習慣	計画・継続的な学習習慣／期日への意識／振り返りの習慣
関心・意欲	学びの理解	入学後の学びへのイメージの保持、必要な知識・スキルの把握
	学びへのモチベーション	将来なりたい姿・目標／入学後の学びが楽しみ

「指導用データ」：列G

学修リテラシータイプ	要留意アラート スタートBOOK 取り組み状況と 平均得点率の ★の合計	受講者番号	氏名	学部名	学科名
A+		99990001		A学部	A学科
B	★★★★	99990002		A学部	A学科



※全課題の受講終了後、「指導用データ」「個人票」へ反映します

【参考】タイプA+ に対する効果的な指導例

特徴

- ・高校までの学習習慣・姿勢がある程度備わっており、入学前課題にも、ほぼ期日どおりに、取り組み時間を確保して継続学習ができた。
- ・将来なりたい姿のイメージや、学生生活で挑戦していきたいことなどを具体的に持ち、意欲的・前向きな気持ちを持って、入学を迎えている傾向。

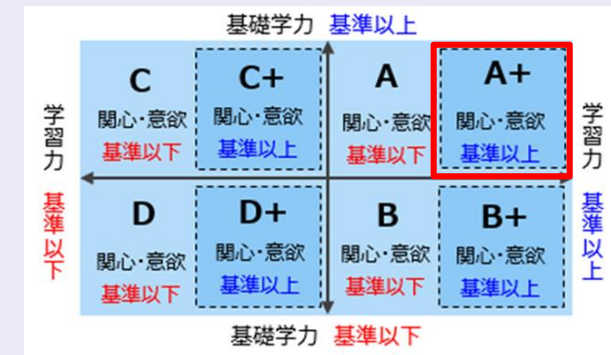
入学後の想定リスク

やる気も学力レベルも高いが、周りがついてこれずに浮きこぼれてしまうことや、周りの空気感に引っ張られて、学習習慣やモチベーションなどが下がってしまう可能性がある。

効果的な指導

- ・周りより少しだけ高い目標設定をすることや、自発的な行動がしやすい環境を用意する。
- ・自身一人で進めるのではなく、グループにおいてリーダーやファシリテーターを務めさせるなど、早期から集団行動を促す。

- ① 学問サキドリプログラム【個人票】P2：「目標や意気込み」の記載内容にも注目しながら、今後大学生活で頑張っていきたいことに対してのアドバイス、更に次に目指せることの提示。
- ② 同じタイプの学生と一緒に行動する傾向が強いため、他のタイプと一緒に行動・協働する機会を作ると、さまざまな立場の意見や意識に触れ、今後社会に出てから役立つコミュニケーション力を身に付けることが出来る。



基礎学力・学習力・関心意欲すべてにおいて高い学生である。
高い目標を提示できると新しいチャレンジにも取り組める。

【参考】タイプA に対する効果的な指導例

特徴

- ・高校までの学習習慣・姿勢がある程度備わっており、入学前課題にも、ほぼ期日どおりに、取り組み時間を確保して継続学習ができた。
- ・一方で、できなかったことに着目してしまう傾向があり、自身に求めるレベルも高いため、自信があまり持てず、入学後の学びに対して、楽しみよりも不安が上回ってしまう。
- ・何かしら納得しない思いを持っている可能性がある。（例：親からの進学指示 など）

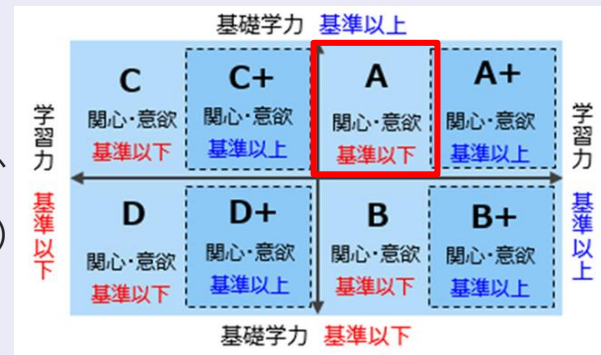
入学後の想定リスク

自己肯定感が低い状況が続くと、「あれもなければ」「これでも不安だな」と、タスク過多・優先順位が付けられず備わっていた学習姿勢が徐々に損なわれてしまう可能性がある。

効果的な指導

- ・まずは、現在の学習方法や学習レベルで十分な状態である、という、努力を承認し、自信を持たせる。
- ・あらためて、入学後・将来の目標を確認し、そこに向けたプロセスを一緒に確認する。
- ・異なる価値観に触れたり、新たな挑戦をするなど、自身を客観的に見ることのできる機会を持たせる。

- ① 学問サキドリプログラム【個人票】P3：「不安に思っていること」「受講を終えて不安として残っていること」に着目し、学生生活に向けた不安に寄り添い、現状の学力レベルで十分に準備ができていることを伝える。
また、【個人票】P2：「目標や意気込み」、「なりたい自分」の内容に合わせて、今後の学びのプロセスを示す。
- ② 「タイプA+」や「タイプB+」の学生と一緒に行動する機会があると、新たな視野が広がられる。



学力面も高く、学習する習慣なども備わっている。
自分に自信を持つことと、目標に対する最適なプロセスを見せていく。

【参考】タイプB+ に対する効果的な指導例

特徴

- ・これからの学びへの理解や将来なりたい姿のイメージがある程度あり、継続的に学習する習慣が身につけている傾向がある。
- ・その一方で学力面がやや定着せず、学習方法に課題がある可能性がある。序盤は計画的に取り組めるが、後半で遅れがちになって時間が確保できなかったり、教科書やレジュメの丸写しをして満足してしまう など。

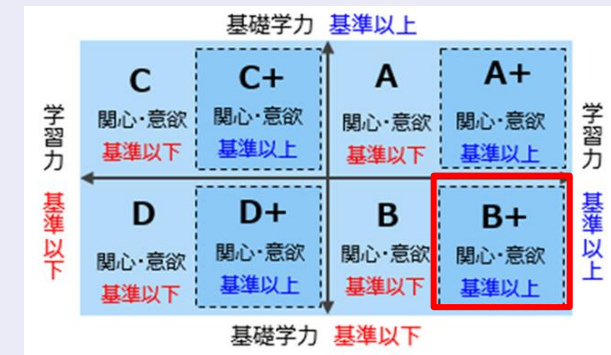
入学後の想定リスク

授業への理解が追いつかずに苦勞するほか、自身の頑張りがなかなか結果に反映されないため、自己肯定感が下がり、学習意欲の低下にもつながる可能性がある。

効果的な指導

- ・学習方法に関するフォロー。これまでの授業・復習のやり方、計画の立て方を聞き、どの部分に課題があるのかを一緒に整理を行う。
- ・特定の分野に苦手が残っていないかを確認し、それらの分野が、最終目標に対してどうかかわるか、そこにはどのようなプロセスが必要かを提示し、スモールステップで「できた！」「わかった！」という成功体験を積む。

- ① 学問サキドリプログラム【個人票】P3：「入学後に意識したい学習行動」に着目し、状況の把握と適宜アドバイスを行う。
また、P2：「得意な分野、苦手な分野」に着目し、今後の学びとの関連性を提示する。
- ② 「タイプA+」「タイプA」の学生と一緒に勉強する機会があると、自身の学習のやり方との違いを知る機会となる。
「タイプD+」の学生に対しては、学習時間の確保の仕方などを自分の言葉にして伝える経験をすることができる。



学習習慣やモチベーションは非常に高い学生であるため、勉強に関して正しいやり方を身に付けさせたい。

【参考】タイプB に対する効果的な指導例

特徴

- ・課題や宿題として与えられたものは、継続的に学習をすることができるが、課題を終えることが目的になり、学力が定着する学習方法を見いだせていない。
- ・自身でも学力が定着しないことに課題を持っており、それゆえ不安が強く、自信が持てていない。学びの幅を広げるなどの挑戦にも意欲的ではない。

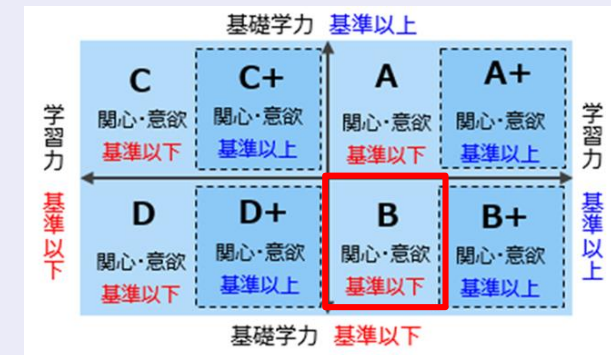
入学後の想定リスク

授業への理解が追いつかず苦勞し、モチベーションも上がらず、入学後の学びに徐々に身が入らなくなる可能性がある。高校までに培ってきた学習サイクルが乱れる可能性がある。

効果的な指導

- ・学習方法に関するフォロー。これまでの授業・復習のやり方、計画の立て方を聞き、どの部分に課題があるのかを一緒に整理を行う。
- ・特定の分野に苦手が残っていないかを確認。また、今後のなりたい姿を一緒に検討し、そこには（苦手分野も含めて）どのようなプロセスが必要かを提示し、スモールステップで成功体験を積む。

- ① 学問サキドリプログラム【個人票】P3：「高校までの学習の様子」「入学後に意識したい学習行動」に着目し、適宜アドバイスを行う。また、P2：「得意な分野、苦手な分野」「目標や意気込み」に着目し、今後の学びとの関連性を提示する。
- ② 「タイプA+」「タイプA」の学生と一緒に勉強する機会があると、自身の学習のやり方との違いを知る機会となる。「タイプD+」の学生に対しては、学習時間の確保の仕方などを自分の言葉にして伝える経験をすることができる。



課題には真面目に取り組むが、学力定着・モチベーションに課題あり。
今後のなりたい姿を一緒に検討、学習方法を見直していきたい。

【参考】タイプC+ に対する効果的な指導例

特徴

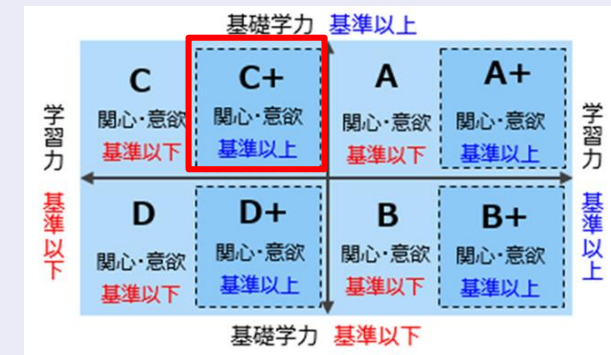
- ・汎用的基礎学力と専門分野の学びに必要な学力が、どちらも高いレベルで備わっており、また、入学後で学ぶことへの意欲も高い傾向。
- ・その一方で、課題になかなか着手しない、着手しても継続しない、締め切りを守れない、など、学習する姿勢に課題が見受けられる。
- ・要領がよく器用で失敗経験が少なく、コツコツ努力することが必要がなかった。

入学後の想定リスク

これまでは「間に合えば一緒、遅れても何とかなる」と切り抜けてきたことが、大学での単位修得基準や、社会に出た後を見据えると通用せず、壁にぶつかってしまう可能性がある。また、他の学生の学習に対する意識にも影響する可能性がある。

効果的な指導

- ・なぜ計画的に学習を進めることが大切なのか、今後考えられる可能性を提示する。
例) 入学後はすべて自分で履修科目を決め、スケジュールを立てていく必要がある / 課題の提出期限を守れないければ単位修得ができないことがある / 社会に出た後も、たくさんのタスクを、同時並行で、リスクを想定しながら進めて行くので、計画性が重要
- ① 学問サキドリプログラム【個人票】P2:「取り組み締切日を守らなかった理由と今後の工夫点」に着目し、その内容に沿って現在出来ているかの確認と追加のアドバイス、期日を守る重要性を訴求。
- ② 「タイプA+」や「タイプA」の学生と一緒に勉強する機会があると、自身の学習のやり方との違いを知る機会となる。



大学で学ぶ上での基礎学力の定着と、学びに対する意欲も高い。
期日を意識していくことの必要性の理解を促したい。

【参考】タイプC に対する効果的な指導例

特徴

- ・大学で学ぶ上で必要となる学力が備わっている一方で、学習習慣に不安があり、どのように入学後の学びを進めたいか自信がない。
- ・要領がよく自頭が良い。高校まで勉強を頑張ってきたものの、大学に合格することがゴールとなっていており、次の目標を具体的に描けていない。

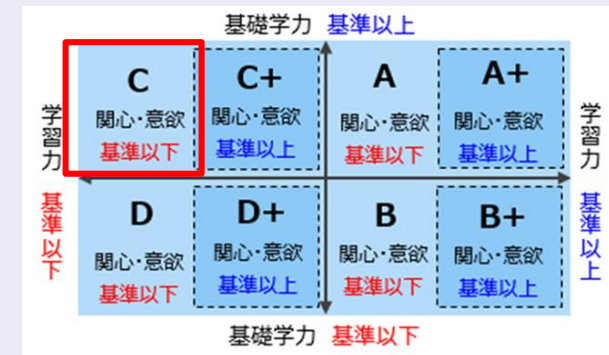
入学後の想定リスク

これまで培った学力だけで対応しようとし、入学後の新しい学びについていけなくなる可能性がある。
自分では学習の工夫を考えられず、モチベーションも低いまま、入学後の学びに徐々に身が入らなくなる可能性がある。

効果的な指導

- ・まずは、現在の学力レベルで十分な状態である、という、努力を承認し、自信を持たせる。
- ・現在の学習方法について聞き、計画的に進められない理由に寄り添い、どの部分に課題があるのかを一緒に整理を行う。
- ・大学生活での新しい目標を一緒に見つけ、そこへのステップや、なりたい理想像を具体的に描く。

- ① 学問サキドリプログラム【個人票】P3：「高校のときの学習の様子」「入学後に意識したい学習行動」に着目し、適宜アドバイスを行う。
P3：「プログラムを通して頑張りたいこと」を振り返り、達成したことを承認し自信につなげる。
P2：「目標や意気込み」、「なりたい自分」から、入学後に頑張っていきたいことを確認しながら、一緒に今後の目標を考える。
- ② 描いている目標に近い上級生と触れ合う機会を持ち、可能であれば上級生の1年次のノートや手帳などを見せてもらい、計画の立て方や学習の進め方について学ぶ。



学力面の定着はある程度備わっているものの、そこへの自信を持つことと、
よりよい学習の進め方について触れ、考える機会を持つ

【参考】タイプD+ に対する効果的な指導例

特徴

- ・入学前課題の取り組み開始時の時点で、学力レベルがやや低く、課題の取り組み方も徐々に遅れがちで、学習に時間をかけても学力の定着が難しい。
- ・一方で、これからの学びへの理解や将来になりたい姿のイメージがついており、入学前課題に取り組んだことで、入学後の学びに対して楽しみ、自信を持てたといった前向きな気持ちを持っている。

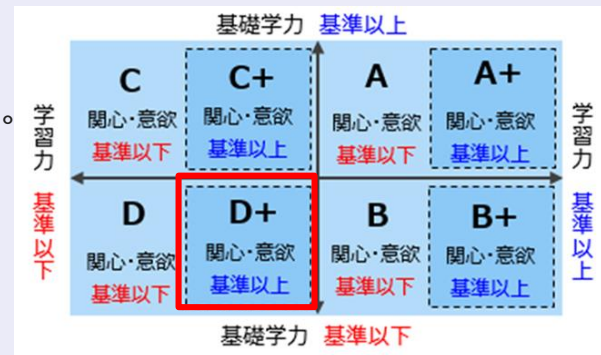
入学後の想定リスク

正しい学習方法で学びを進められておらず、時間をかけた割になかなか結果に反映されないため、自己肯定感が下がり、学習意欲の低下にもつながる可能性がある。

効果的な指導

- ・現在持っている意欲や自信を継続させるため、今後の目標を改めて確認し、今後のステップを提示する。
- ・現在の学習方法について聞き、計画的・継続に進められない理由に寄り添い、効果を上げるためにはどの部分に課題があるのかを一緒に整理を行う。

- ① 学問サキドリプログラム【個人票】P2：「目標や意気込み」、「なりたい自分」から、入学後に頑張っていきたいことを確認。合わせて、P2：「苦手な分野」がどのように目標と関わってくるか、学習のプロセスを提示。
- ② 「タイプA+」「タイプA」「タイプB+」の学生と一緒に勉強する機会や、描いている目標に近い上級生と触れ合う機会を持ち、可能であれば上級生の1年次のノートや手帳などを見せてもらい、計画の立て方や学習の進め方について学ぶ。



プログラム学習を通して入学後の学びへのモチベーションが高まっている。
学習方法と苦手の克服について、目標とのプロセスを提示する。

【参考】タイプD に対する効果的な指導例

特徴

- もともとの学力レベルがやや低く、入学前課題の取り組み方も徐々に遅れがちで、学習に時間をかけても学力の定着が難しい。
- 学習への意欲も低く、プログラムの学習がなかなか成果として実感できず、入学後の学びへの楽しみや、自信が持てていない。
- 過去の成功体験が少なく、前向きに取り組もうという気持ちが湧かない。

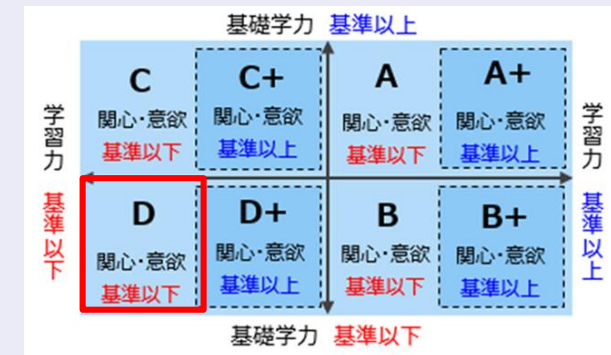
入学後の想定リスク

無気力状態から抜け出せず、ついていけない・どう努力したらいいかわからない、単位が取れない・欠席が増えていくなどの可能性がある。

効果的な指導

- 決して進学満足度が低いわけではなく、また、将来の目標も、具体的ではなくても多少持っているので、進路選択・入試の時点を振り返り、進学先を決めた理由ややりたいことをあらためて見つめる機会を持つ。
- 深刻な悩みを抱えている可能性もあるため、今の状況を一緒に整理することで信頼関係を構築する。

- ① 学問サキドリプログラム【個人票】P3：「プログラムを通して頑張りたいこと」を振り返り、達成したことを承認し自信につなげる。
P2：「目標や意気込み」、P3：「進学理由」を総合し、入学後にどんなことをしていきたいか、あらためて考える機会を持つ。
P2：「締め切りを守れなかった理由と今後の工夫点」「入学後に意識したい学習行動」から、簡単な目標の一つ設定してみる。
- ② 「タイプB+」「タイプD+」の学生と一緒に勉強する機会があると、他の学生が大学生活でどんなことを頑張ろうと思っているのかを知るきっかけになるため、大学生活ではどういうことを意識すると良いのか新たな発見を得ることが出来る。



学力・学習力をはじめ意欲面にも課題がある。
最も優先度高く面談を実施し、不安や悩みの確認していきたい。

1. ご入学生へのフォロー・ご指導スケジュールについて
2. 「要注意学生」のピックアップ方法：「指導用データ」のご紹介
3. 受講結果データの確認方法
 - 学習習慣面
 - 学力面
 - 意欲・関心面
4. 層別指導：「学修リテラシータイプ」のご紹介
5. 「個人票」のご紹介

「個人票」ダウンロード方法

個人票

Chatterbox > データ確認 > 受講データ（個人情報あり）

chatter box (大学・学校マイページ) 進研大学1 様 サインアウト

TOPページ

- スケジュール
- メッセージ検索
- メッセージ新規

提出/校了

- 仕様書
- 受講者リスト
- その他

データ確認

- 仕様書・文書（確定版）
- 受講確定者リスト
- 受講データ(個人情報なし)
- 受講データ(個人情報あり)**

資料宛本返信
利用者/IPアドレスの管理
使いかマニュアル

■受講データ（個人情報あり） [受講データの見方はこちら](#)

※このページにアップロードされているデータは個人情報が含まれています。
保管期間を過ぎると、自動的にデータが削除されます。必ず期限内にダウンロードをしてください。

指導用データ（個人情報あり）

※デイリーで更新され、アップから7日間のデータが確認できます。
土日祝日、年末年始（12月29日～1月3日）の更新はありません。

指導用データ（個人情報あり）を一括ダウンロード

ファイルがありません。

ダウンロード

報告レポート

※「採点データ」「提出状況データ」と同時に作成し、期間中に3回アップロードします。
※保管期間は、アップロードから2週間となります。

報告レポートを一括ダウンロード

日時	ファイル名
<input type="checkbox"/> 22/09/05 13:09	9999_報告レポートテスト用①.xlsx
<input type="checkbox"/> 22/09/05 13:09	9999_報告レポートテスト用②.xlsx

ダウンロード

個人票（面談シート）

※保管期間は、アップロードから2週間となります。

ファイル名	ダウンロード曜日
9999_報告レポートテスト用③.xlsx	22/09/19

ダウンロード

- 各月に受講終了した方の個人票を翌月初旬にご提供
- 全受講対象者の受講終了月は受講終了から約6営業日後にご提供

※アップロード後2週間の保管期間を過ぎると、自動的にデータ削除となります。ご注意ください。

※「個人情報」の権限がないユーザーは「個人情報あり」のデータにアクセスできませんのでご注意ください。

「個人票」 構成

入学生個人ごとに、受講結果を抜粋してまとめた、面談等で活用しやすいシートです。
 入学後の個別フォローや面談などのシーンで、入学生とお話いただく際に参考にさせていただける項目を抜粋して掲載しています。

2. スタートBOOK ●●●実習結果

取り組み状況	STAGE1	STAGE2	STAGE3	STAGE4	STAGE5	STAGE6
進捗率	90.0%	80.0%	70.0%	80.0%	80.0%	80.0%

【スタートブック】 大学生チャレンジ

進捗率	チャレンジ1	チャレンジ2	チャレンジ3
進捗率	90.0%	80.0%	70.0%

進捗のユニット3つ

ユニット	No.1	No.2
「習熟度別」もってこいてみよう	Unit2「ユニット名」	Unit21「ユニット名」
「習熟度別」もってこいてみよう	Unit15「ユニット名」	Unit20「ユニット名」

【ワーク】 「学びのめとめ」 取り組みを振り返って気づいたこと

【ワーク】 「学びのめとめ」 学びのめとめを振り返って気づいたこと

【ワーク】 「学びのめとめ」 学びのめとめを振り返って気づいたこと

SAMPLE 作成日 2023/●/●

習熟度別プログラム 個人票 (複製シート)

本人の学習状況と学習成果、進捗率のアンケート結果を掲載し、ご確認いただけます。

学習状況	学習成果
A: 習熟度	習熟度別プログラム
B: 習熟度	習熟度別プログラム
C: 習熟度	習熟度別プログラム
D: 習熟度	習熟度別プログラム

科目	科目	科目	科目	科目	科目
経済学	経済学	経済学	経済学	経済学	経済学
英語	英語	英語	英語	英語	英語
数学	数学	数学	数学	数学	数学
AO入試	00000	●●●●●●●●	●●●●●●●●	進研 太郎	

1. ビフォー/アフターテスト結果

項目	ビフォーテスト (100%)	アフターテスト (100%)	スコア	スコア	スコア	スコア
取り組み状況	◎	◎	18	12	12	B
進捗率	30.0%	20.0%	60.0%	40.0%	50.0%	20.0%

【ワーク】 「学びのめとめ」 取り組みを振り返って気づいたこと

項目	ビフォーテスト (100%)	アフターテスト (100%)	スコア	スコア	スコア	スコア
取り組み状況	◎	◎	18	12	12	B
進捗率	40.0%	30.0%	70.0%	40.0%	60.0%	70.0%

項目	内容	ポイント
1. ビフォー/アフターテスト受講結果	・得点率 (問題系統別、合計) ・受講前後のテストの伸び ・提出状況	プログラム受講前後の得点から成果の検証結果をご確認いただけます。問題系統別の得点結果より、苦手分野の傾向もご確認いただけます。
2. スタートBOOK受講結果	・STAGE別提出状況、 ・得点率・ワーク取り組み状況 ・ワークを通して得た気づき	提出課題の取り組み状況と自主探求学習型のワークで得た気づきをご確認いただけます。
3. 高校までの学習の様子	・高校時代の履修科目一覧	受講結果と履修状況をあわせてご確認いただき、貴学での学びにおいて必要な基礎学力のフォローの必要有無をご確認いただけます。
4. 大学・学校への進学理由やプログラム受講を通した気づき	・受講前後のアンケート結果	進学満足度や進学理由などから、受講生がどのような気持ちや志をもって入学してくるのかをご確認いただけます。
5. パワーアップBOOK受講結果	・STAGE別提出状況、得点率、平均得点率	提出課題の取り組み状況をご確認いただき、基礎学力のご指導にご参考いただけます。

※受講対象者個人には、「学問サキドリプログラム成果シート」という「個人票」と同じ項目のシートを、受講終了後にフィードバックしています。

「個人票」 P1

入学生とコミュニケーションを行う際に参考にしていただける項目をご紹介します。ぜひご活用ください。

進研大学 SAMPLE 作成日 2024/3/31

学修サキドリプログラム 個人票 (面談シート)

学部	学科	専攻	コース	学籍番号
経済学部	経済学科		▲▲▲▲コース	9999999
入試区分	受験番号	高校名	氏名	
総合型選抜	99999	●●高校	進研 太郎	

学修リテラシータイプ

「基礎学力」「学習力」「関心・意欲」にかかわる軸により、学生を8タイプ分けしたものです。学生のタイプによって、効果的なコミュニケーションは異なります。面談やご指導時の参考にしていただければと思います。 ※詳細は各タイプ効果的な指導例を参照

1. ビフォーテスト/アフターテスト受講結果

学修成果の確認・得意分野と苦手分野の傾向などをご確認いただけます。

<チェックポイント>

- 取り組み状況：期日内提出◎ 期日後提出○ 未提出
- 得点率（合計/問題系統別）
- ビフォー→アフターテストでの得点率の伸び

2. スタートBOOK 受講結果

<チェックポイント>

- 課題/ワークの取り組み状況 期日内◎ 期日後○ 未提出
- 各STAGEごとの得点率

プログラム受講を通して身に付いた力

本プログラムの受講を通して、あなたはどんな力が身に付いたと感じていますか？

◎左のレーダーチャートで、受講前後で伸びた力や、思うように伸びなかった力をチェックしてみましょう。

◎下の表で、レーダーチャートの各項目を解説しています。身に付いた力や、さらに高めたい力の項目も紹介していますので、ぜひ今後の学習に活用してください。

【伸びた力】
「プログラム受講後のスコア」が赤く表示されています。ご自身の成長、強みとして確認しましょう。
【あまり変化のなかった力】
今回は伸びが見られましたが、「こんな活動を通して高められる」のアドバイスを参考に、今後の学習に生かしましょう。

学修リテラシースコア項目	あなたのスコア		どんな力	こんな活動を通して高められる 活動例
	プログラム受講前	プログラム受講後		
汎用的基礎学力	2.0 / 4	3.0 / 4	大学での学びに必要な学力 読解力/文章理解力/計算力/図表読解力	例えば、授業前や授業中に「内容をよく読んでおくこと」「レポートや資料を整理する癖を付けること」など、具体的な学習活動を通して「身に付いた力」を確認しましょう。
専門分野の基礎学力	2.0 / 4	4.0 / 4	専門分野の学びに必要な学力	専門分野の学習に必要な力は、学んだ内容を自分なりに理解し、アウトプットすることが大切です。ひとつひとつの理解を大切に「学習」や「復習」に励んで「身に付いた力」を確認しましょう。
主体的に学ぶ姿勢・習慣	3.0 / 4	4.0 / 4	計画的・継続的な学習習慣 ・取り組み期日の意識 ・学びの振り返り習慣	あなたの「やりたい事」や「目標」に対して、「小さな目標」を立ててみましょう。まずは「毎日の振り返り」など無難なことから始めるのがおすすめです。あなたの学びをデザインしていきましょう。
学びの選択	2.0 / 4	4.0 / 4	入学後の学びへのイメージが持てている	シラバスやカリキュラムを見て「希望のよう」な学習のイメージを持てましょう。また、各大学・学部のWebサイトやSNSを参考に、積極的に周囲の人に話を聞いてみることで、自分の学びの方向性を明確にしましょう。
学びへのモチベーション	2.0 / 4	3.0 / 4	・自分なりたい姿・目標が持てている ・入学後の学びが楽しみ	「自分にとっての学びの楽しさ」を思い浮かべながら学習に取り組んでみましょう。学びの楽しさを感じながら学ぶことで、モチベーションを高められるようになります。

1. ビフォー/アフターテスト受講結果

項目	取り組み状況 ◎：期日内 ○：期日後 ×：未提出	得点率	得意分野/苦手分野					
			基礎問題		応用問題		総得点	
			80点	100点	12点	12点	80点	100点
ビフォーテスト	◎	30.0%	40.0%	50.0%	20.0%	60.0%	20.0%	50.0%
アフターテスト	◎	40.0%	40.0%	60.0%	60.0%	70.0%	30.0%	70.0%
得点率の伸び		/	/	/	/	/	/	/

2. スタートBOOK 受講結果

取り組み状況	◎◎◎受講結果					
	はじめの一歩	STAGE1	STAGE2	STAGE3	全STAGE	平均値Cib
取り組み状況	◎	◎	◎	○	◎	○
得点率	*	90.0%	80.0%	70.0%	80.0%	*

<このページを活用した声かけ例>

- ・しっかりと受講後に得点率が伸びているね！復習したのかな？
- ・（受講後の得点率が下がっている分野があった場合）一部の分野の得点が低いけど、何かあったのかな？
→なるほど、●●ということを確認できたのはよかったね！
●●については、将来●●で使うから、しっかり復習しておこう。

「個人票」P2

SAMPLE

■注目のユニット3つ

※Unit課題の受講得点結果より分類しています。

	No.1	No.2	No.3
「得意な分野」 もっと強めて みよう	Unit6「グラフを有効に活用しよう」	Unit15「事実と意見を使い分けよう」	Unit19「新商品を生み出せ！」
「苦手な分野」 練習してみよう	Unit27「円高・ドル安の影響」	Unit22「目上の人との会話」	Unit10「金利について考えよう」

「得意分野」=さらに理解を深めるために、テキストに基づいていないことも調べてみましょう。
「苦手分野」=高校までの復習なので、どこでつまづいたかを確認しましょう。

■「大学生チャレンジ」取り組み結果

	チャレンジ1	チャレンジ2	チャレンジ3
正答率 (初回)	90.0%	80.0%	70.0%
正答率 (繰り返し)	90.0%	80.0%	70.0%
繰り返し回数	2回	1回	0回

■取り組み継続日を守れなかった原因があった場合、その理由と、今後の工夫点

後半に当たるにつれて締め日までの間が短くなっていき、とっていいメモをこまめに確認しようとしていなかった自分の不注意が原因です。
いつまで待てれば練習があるのかももっと注意深くチェックは良かったと後悔しています。残りの課題がまだ少しあるのでこのように2と3と間違えないように前日もしっかり目に入れているように改めてその必要性を感じることが出来ました。

■【ワーク：「学びのまどめ」】學んだことや気づいたこと/進捗を志した理由/科学技術について

「学びのまどめ」を通して、社会で起きているさまざまな問題について改めて考え直すことができた。
次の社会を担う世代になってくると、社会の問題を軽くみるのではなく、自分が解決に向けて何をできるか考え少しでも貢献できるようにしたいと思った。

※教材によって「学びのまどめ」の取り組み内容が異なります。
・「学んだことや気づいたこと」：社会科学系、人文系、生活・人間系、学力的基礎
・「進捗を志した理由」：看護・医療系、リハビリ・医療系、薬学系、食物・栄養系、保育・児童系
・「課題解決に必要な科学技術について」：理工系

■【ワーク：「学びのまどめ」】あなたの「目標」や「意気込み」を宣言しましょう！

この4年間を部活も勉強も両立させ、経営学に関する知識、仕組みを理解して社会に出ても通用する人間になる。

■【ワーク：「未来の自分を考えよう」】

目標設定タイプ診断	A	B	C
A: 理解を深めたいこと	なりたい自分があり、目標設定ができていないタイプ	なりたい自分像は持っているが、目標が設定できていないタイプ	なりたい自分像のやりたいたいことやなりたい自分像ははっきりと持っていないタイプ
B: 入学後になりたい自分、成し遂げたいこと			
C: 入学後にどんな自分になりたいか			

スポーツマーケティング
より多くの人にスポーツの楽しさを知ってもらえることができる

2. スタートBOOK 受講結果

得意分野と苦手分野の傾向の確認や、「ワーク」で得られた気づきから、学習を振り返り、入学後の学びについて考えるきっかけとなります。

<チェックポイント>

- 得意な分野、苦手な分野
- 「大学生チャレンジ」正答率と解き直し回数
- ワークを通して得た気づき（自由記述）
- 目標設定タイプ診断

<このページを活用した声かけ例>

- の分野が得意なんだね！●●も好きかな？
- に気づいたんだね！いい観点だね！実はこの分野ではね…
→ ●●を目指して一緒にがんばろう！
- なかなか勉強の時間が取れない時期があったのかな？
- の分野が苦手なのかな？不安に思っていることはある？
→ なるほど、●●という先輩もいたよ、一緒に工夫していこう。

「個人票」 P3

SAMPLE

3.高校までの学習の様子

履修科目	履修	履修状況	科目	履修状況	履修	履修状況
数学Ⅰ	○		科学と人間生活		生物基礎	○
数学A	○		物理基礎	○	生物	
数学Ⅱ			物理		地学基礎	
数学B	○		化学基礎	○	地学	○
数学Ⅲ			化学			

項目	内容
高校時代の1日の平均学習時間（授業以外）	1時間30分
高校生のときの学習の様子	②理解でわからないことは先生に質問した。③授業でわからないことは自分で調べた。⑦グループワークやディスカッションでは、異なる意見や立場に配慮すること心がけた。⑧授業とは関係なく、興味や疑問をもったことは自主的に調べた。

4.大学・学校への進学理由や、プログラム受講を通じた気づき

項目	内容
進学満足度	ぜひ入りたいと思っ進学を決めた
進学理由	2. 研究テーマが魅力的4.幅広い知識や教養が身につく。企業や地域と連携した学びが充実している。5. グループワークやフィールドワークなど、実学が充実している。9. 少人数教育である。10. 短期間のよい大学・学校である。11. 教員との関係がよい。12. アドミッションポリシーが自分に合っていた。13. 社会で役立つ実践的スキルが身につく。14. めざす資格や免許の取得に有利。15. 就職支援体制が充実している。16. 就職状況がよい
(受講前) このプログラム受講を通して履修したいこと	すぐ忘れてしまったり細かくなってしまうことが高校まではたくさんあったので、この講座では細かに復習できるように取り組みたい
(受講前) 不安に思っていること	勉強しているより難しいことを学ぶことになると思うので、履修生にしっかりとついていけるかが不安である。講義に活用することができずにはできないため学校になじんでいけるのかも心配である。
(受講後) プログラム受講を終えて不安として残っていること	どのようなことを学んでいくのかは理解できたが、それでも難しく感じたので、自分が履修生や授業についていけるかは少し不安です。
(受講後) 入学後に意欲したい学習行動	レポートなどの課題は提出日より余裕をもって提出する。予習などをしっかりし、分からないことはしっかり理解できるようにしたい。

◎=とてもあてはまる、○=まああてはまる、△=あまりあてはまらない、×=まったくあてはまらない

項目	受講前	受講後
大学・学校でどんなことを学ぶのイメージがわいている	△	○
大学・学校での学びに必要な知識やスキルがわかってい	△	○
大学・学校の学習に対して不安はない	×	○
自分に不足しているかや苦手分野がわかってい	△	○
大学・学校卒業後にしたいこと、やりたい事が具体的に	○	◎
大学・学校での学びが楽しかった	○	◎

3. 高校時代の履修状況

受講結果と高校での履修状況や1日の学習時間を掛け合わせて見ることで、基礎学力に関するフォローの必要性をご確認いただけます。

4. 大学・学校への進学理由やプログラム受講を通じた気づき

受講前後のアンケートを抜粋して掲載しています。高校時代の学習の様子や、入学に対する気持ちを確認し、今後の学習についてコミュニケーションする際の参考にさせていただきます。

<チェックポイント>

- 進学満足度、進学理由
- (受講後) 不安として残っていること
- 入学後の学びへの準備度

<このページを活用した声かけ例>

- がしたいと思っているんだね！何かきっかけはあったの？
→ なるほど、これから、●●●を目指して一緒にがんばろう！
- が不安なんだね、なるほど。いっしょに考えていこう！
(入学後に●●●という機会があるよ、●●●という先輩がいたよ)
- で学ぶことが具体的に変わったかな？印象に残っていることは？

「個人票」P4

SAMPLE

5.パワーアップBOOK受講結果

5.パワーアップBOOK受講結果		
講座バージョン	◎＝期日内提出、○＝期日後提出、×＝未提出	
取り組み状況	③	○
得点率	90.0%	70.0%
データベストシンキング		
取り組み状況	③	○
得点率	90.0%	70.0%
ロジカルライティング		
取り組み状況	③	○
事前チェック「大学・学校生活で習得力を入れたいこと」 私が今後の大学、学校生活で習得力を入れたいと思うことは、国家試験合格のための対策です。私は、高校の時のボランティアで介護施設へ行き、利用者と接する機会がありました。そこで、スタッフのサポートを受けていたお母様の服を洗う、入浴を助けない、寝てる人を助けたいと思い、作業療法士に興味を持つに至りました。生活訓練を手伝うのではなく、「自分で生活できるようにサポートする」という作業療法士に憧れ、作業療法士になるためには、国家試験に合格しなければなりません。大学では、まず基礎となる学習を身につけ、専門科目に習熟すること。また、授業での活動から学びたい分野でさらに深く学ぶために、国家試験合格のために努力していきたいです。		
事後チェック「大学・学校生活で習得力を入れたいこと」 私が今後の大学、学校生活で習得力を入れたいと思うことは、作業療法士になるための学習です。1つ目は、誰かの役に立つ仕事をしていきたいです。高校生の時のボランティアで介護施設へ行く機会がありました。そこで、利用者の方との接点と信頼関係を築き、おかげで信頼を得ました。あの頃のことを思い出します。その経験から、誰かの役に立てることに強く感じ、以前から関心があったリハビリ系の仕事に興味を持ちました。生活訓練を手伝うこと以上に、「自分で生活できるようにサポートする」という作業療法士を目指したいと考えています。2つ目は、自分が多岐にわたる知識を身につけたいです。以前、グループワークで調べた学習者が、寝てしまったらどうするかと悩んでいました。その時、実際にその場に居る自分も寝てしまったらどうするか、寝かせる方法を思い出したことから、寝かせる方法を思い出したことからです。3つ目は、寝ている人を助けたいと思っています。私は、小中高・中学校で入浴サポートの経験が長くありました。その時、日々のリハビリをサポートし、寝かすの経験が思い出されました。私も、寝ている人を助けたい、助けたいと思っています。以上のことから、私が目指す作業療法士になるための学習に力を入れたいと考えています。		
【備考メモ】		

5.パワーアップBOOK受講結果

教科別/スキル別の学習について、
スタートBOOKの受講結果と合わせて振り返りができます。

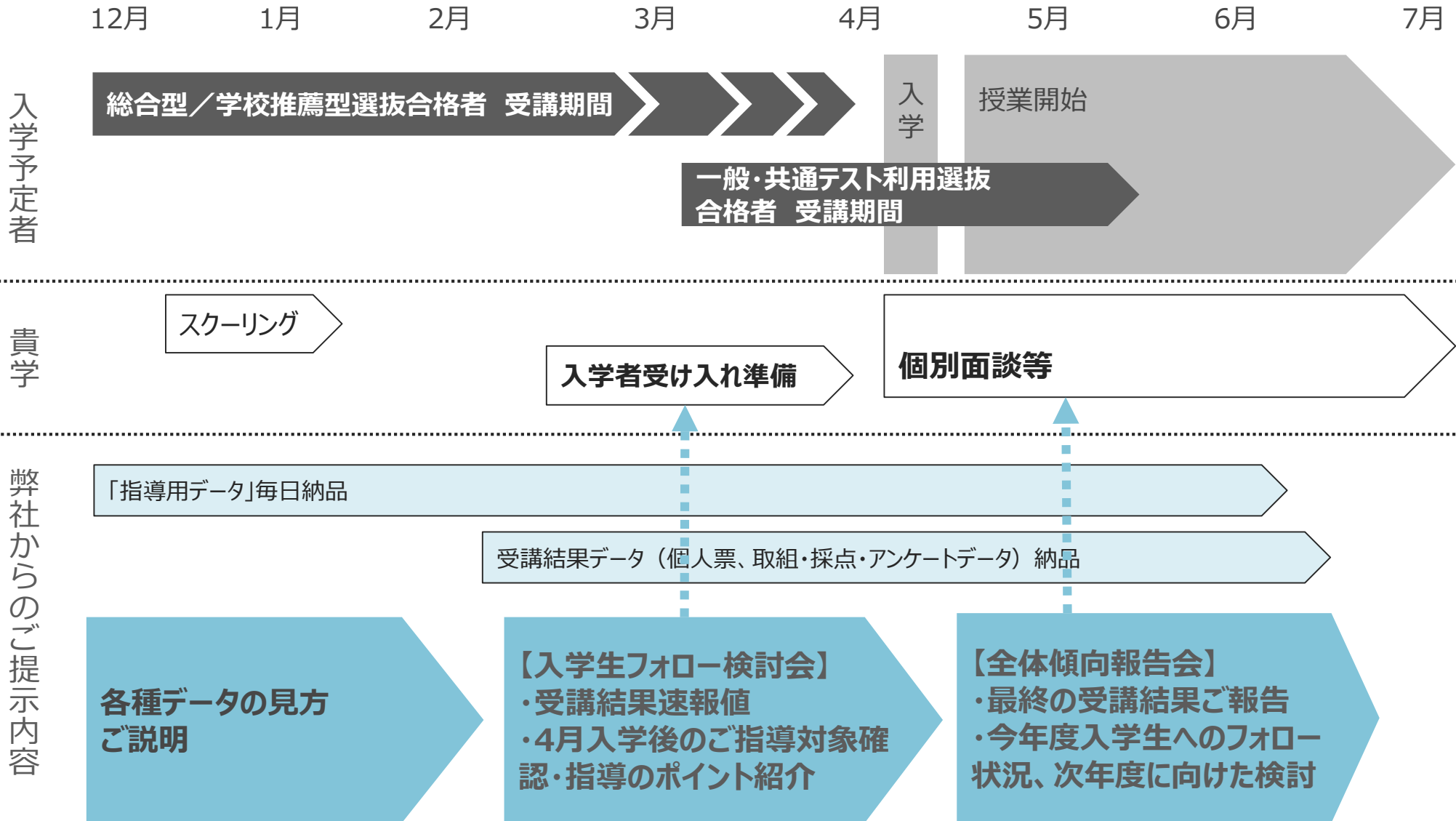
※未実施の場合は空白です。
※ご導入が1冊の場合は2段目以降は空白になります。

<チェックポイント>

- 課題/ワークの取り組み状況：期日内◎ 期日後○ 未提出
- 得点率

※パワーアップBOOK「ロジカルライティング」に取り組まれた方は、
こちらに事前チェック・事後チェックで受講生が取り組んだ
文章（全文）が記載され、学修成果を確認することができます。

学問サキドリプログラム 全体スケジュール（再掲）



**最後までご視聴いただき、
ありがとうございました。**

**ご説明に使用した資料は、
この動画を再生したページに記載のURL
よりダウンロードいただけます。**